

香川県の地震

令和4年(2022年)1月

香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	1～3
香川県の地震表(震度1以上)	・・・	3
震度分布図	・・・	4

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会^(注)

評価検討会調査結果 令和4年(2022年)2月7日	・・・	5
---------------------------	-----	---

(注)直近に開催された評価検討会の調査結果を掲載します。

地震一口メモ

香川県に影響を及ぼした過去の地震について	・・・	6
南海トラフ地震の長期評価(2022年1月1日現在)について	・・・	7

この資料の震源リスト・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

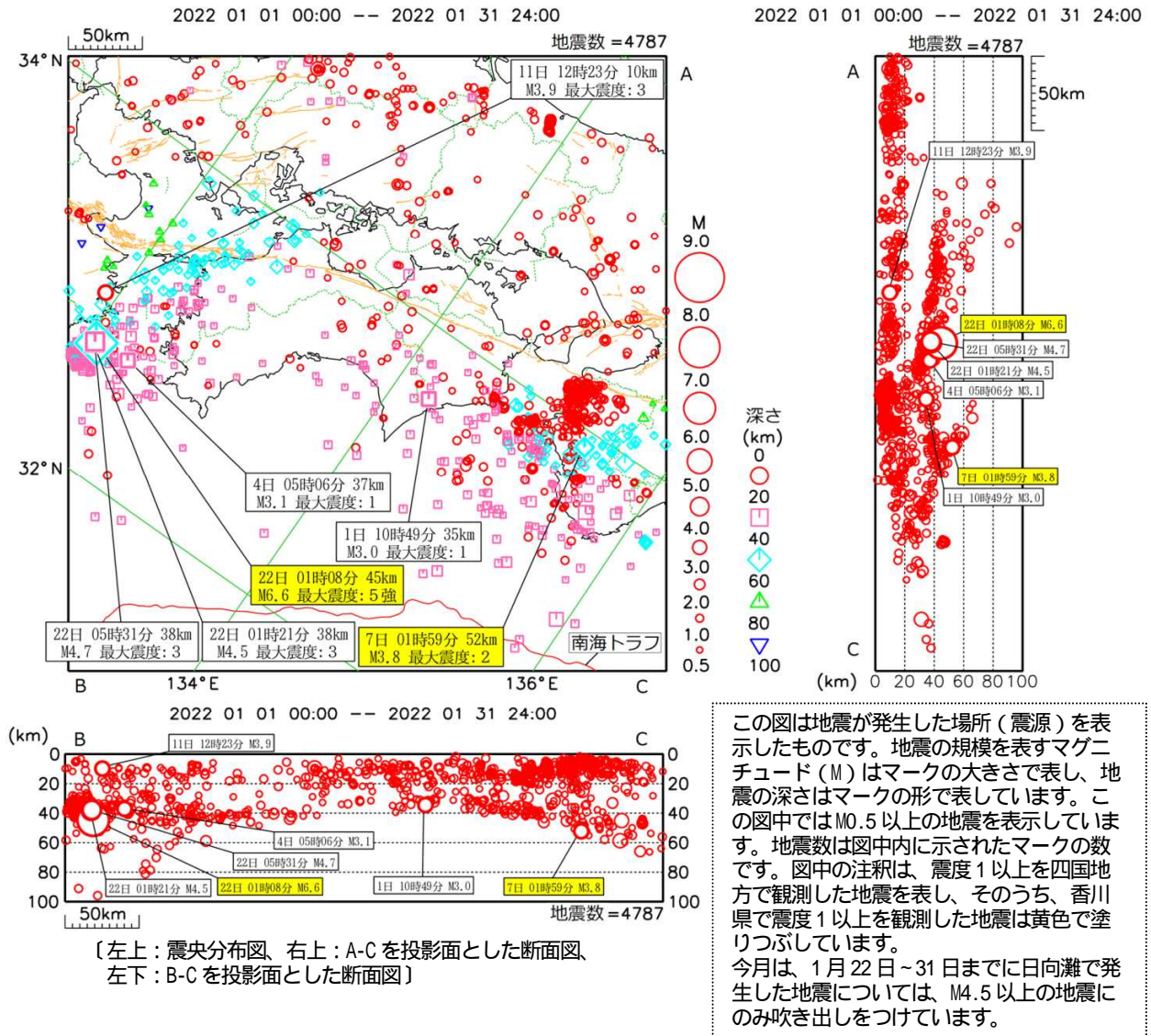
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

【香川県の地震活動】

2022年1月

震央分布図、断面図



地震概況

香川県で震度 1 以上を観測した地震は、次の 2 回でした（前月は 1 回）

7日 01 時 59 分 和歌山県南部の地震（深さ 52km、M3.8）により、高松市・東かがわ市・さぬき市・観音寺市で震度 1 を観測しました。この地震では、三重県尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町、大阪府堺市堺区、奈良県十津川村・下北山村、和歌山県御坊市・湯浅町・由良町・みなべ町・田辺市・白浜町・上富田町・すさみ町で震度 2 を観測したほか、東海・近畿・四国地方で震度 1 を観測しました。

22日 01 時 08 分 日向灘の地震（深さ 45km、M6.6）により、高松市・坂出市・観音寺市・多度津町・三豊市・まんのう町で震度 3、東かがわ市・土庄町・三木町・直島町・さぬき市・小豆島町・丸亀市・善通寺市・宇多津町・琴平町・綾川町で震度 2 を観測しました。この地震では、大分県大分市・佐伯市・竹田市、宮崎県延岡市・高千穂町で震度 5 強を観測したほか、関東・東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度 5 弱～ 1 を観測しました。

四国で震度 1 以上を観測した地震は、前述の他に次の 24 回でした。

1日 10 時 49 分 徳島県南部の地震（深さ 35km、M3.0）により、徳島県つるぎ町・那賀町・美波町で震度 1 を観測しました。

4日 05 時 06 分 日向灘の地震（深さ 37km、M3.1）により、高知県宿毛市で震度 1 を観測しました。

11日12時23分 大分県南部の地震(深さ10km、M3.9)により、大分県津久見市・佐伯市で震度3を観測したほか、愛媛県、高知県、山口県、大分県、宮崎県で震度2～1を観測しました。

22日01時10分 日向灘の地震(深さ43km、M3.6)と22日01時11分 日向灘の地震(深さ41km、M3.6)により、愛媛県愛南町、大分県佐伯市、宮崎県延岡市で震度1を観測しました。

22日01時12分 日向灘の地震(深さ37km、M3.9)により、愛媛県愛南町、大分県佐伯市、宮崎県延岡市・日向市・都農町・高千穂町・美郷町で震度1を観測しました。

22日01時14分 日向灘の地震(深さ38km、M3.6)により、愛媛県愛南町、大分県佐伯市、宮崎県延岡市で震度1を観測しました。

22日01時17分 日向灘の地震(深さ37km、M3.9)と22日01時17分 日向灘の地震(深さ42km、M3.5)と22日01時17分 日向灘の地震(深さ39km、M3.5)により、大分県佐伯市で震度2を観測したほか、愛媛県、高知県、大分県、宮崎県で震度1を観測しました。

22日01時21分 日向灘の地震(深さ38km、M4.5)により、大分県佐伯市、宮崎県延岡市で震度3を観測したほか、愛媛県、高知県、熊本県、大分県、宮崎県で震度2～1を観測しました。

22日01時27分 日向灘の地震(深さ39km、M3.6)により、愛媛県愛南町、高知県宿毛市、大分県佐伯市、宮崎県延岡市で震度1を観測しました。

22日01時45分 日向灘の地震(深さ38km、M3.3)により、愛媛県愛南町、大分県佐伯市で震度1を観測しました。

22日01時56分 日向灘の地震(深さ38km、M3.5)により、愛媛県愛南町、大分県佐伯市、宮崎県延岡市で震度1を観測しました。

22日02時20分 日向灘の地震(深さ39km、M4.0)により、熊本県産山村・高森町、大分県津久見市・佐伯市、宮崎県延岡市・高千穂町で震度2を観測したほか、愛媛県、高知県、熊本県、大分県、宮崎県で震度1を観測しました。

22日02時43分 日向灘の地震(深さ40km、M4.1)により、宮崎県延岡市で震度3を観測したほか、愛媛県、高知県、熊本県、大分県、宮崎県で震度2～1を観測しました。

22日03時06分 日向灘の地震(深さ39km、M3.6)により、高知県宿毛市、大分県佐伯市、宮崎県延岡市・高千穂町で震度1を観測しました。

22日03時17分 日向灘の地震(深さ45km、M4.0)により、高知県宿毛市、熊本県産山村・高森町、大分県佐伯市・竹田市、宮崎県延岡市・高千穂町で震度2を観測したほか、愛媛県、高知県、熊本県、大分県、宮崎県で震度1を観測しました。

22日03時43分 日向灘の地震(深さ39km、M4.0)により、熊本県高森町、大分県佐伯市、宮崎県延岡市・高千穂町・美郷町で震度2を観測したほか、愛媛県、高知県、熊本県、大分県、宮崎県で震度1を観測しました。

22日05時31分 日向灘の地震(深さ38km、M4.7)により、高知県宿毛市、大分県佐伯市、宮崎県延岡市・美郷町で震度3を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度2～1を観測しました。

22日06時34分 日向灘の地震(深さ44km、M3.7)により、高知県宿毛市、大分県佐伯市、宮崎県延岡市・高千穂町・美郷町で震度1を観測しました。

22日06時48分 日向灘の地震(深さ37km、M4.1)と22日06時48分 日向灘の地震(深さ38km、M3.5)により、熊本県産山村、大分県佐伯市で震度3を観測したほか、愛媛県、高知県、熊本県、大分県、宮崎県で震度2～1を観測しました。

22日11時57分 日向灘の地震(深さ40km、M3.6)により、愛媛県愛南町、高知県宿毛市、大分県佐伯市、宮崎県延岡市で震度1を観測しました。

22日13時20分 日向灘の地震(深さ40km、M4.1)により、大分県佐伯市で震度3を観測したほか、愛媛県、高知県、熊本県、大分県、宮崎県で震度2～1を観測しました。

23日14時45分 日向灘の地震(深さ39km、M3.6)により、愛媛県愛南町、高知県宿毛市、大分県佐伯市、宮崎県延岡市・日向市・美郷町で震度1を観測しました。

23日19時15分 日向灘の地震(深さ37km、M3.7)により、宮崎県延岡市で震度2を観測したほか、愛媛県、高知県、大分県で震度1を観測しました。

27日08時51分 日向灘の地震(深さ37km、M3.4)により、高知県宿毛市、大分県佐伯市、宮崎県延岡市で震度1を観測しました。

トンガ諸島付近のフンガ・トンガ - フンガ・ハアパイ火山の噴火による潮位変化により、四国に津波注意報、津波予報（若干の海面変動）を発表しました。

15日13時頃（日本時間）にトンガ諸島付近のフンガ・トンガ - フンガ・ハアパイ火山で発生した大規模噴火に伴い、北海道から沖縄県にかけての太平洋沿岸等で潮位変化を観測しました。

これらの潮位変化に対する警戒・注意を呼びかけるために、16日00時15分に北海道から沖縄県にかけての太平洋沿岸等に津波警報・津波注意報を発表（#）しました（16日14時00分に全て解除）。

四国では香川県、愛媛県瀬戸内海沿岸、愛媛県宇和海沿岸に津波予報（若干の海面変動）を発表したほか、徳島県、高知県に津波注意報を発表し、徳島県の徳島由岐で0.5m、高知県の土佐清水で0.9mなどの潮位変化を観測しました（速報値）。

#）地震に伴う通常の津波とは異なりますが、防災上の観点から津波警報の仕組みを使って発表。

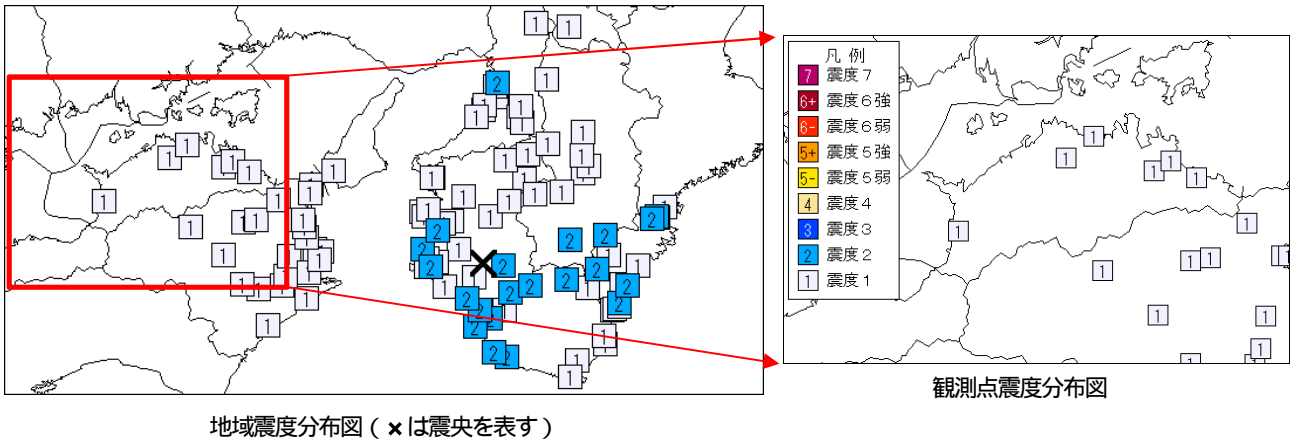
香川県の地震表（震度1以上）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2022年01月07日01時59分 香川県	和歌山県南部	33° 54.1' N	135° 24.1' E	52km	M3.8
震度 1：高松市扇町*、高松市国分寺町*、東かがわ市西村、さぬき市津田町*、さぬき市寒川町*、観音寺市坂本町					
2022年01月22日01時08分 香川県	日向灘	32° 42.9' N	132° 04.3' E	45km	M6.6
震度 3：高松市扇町*、坂出市久米町*、観音寺市坂本町、観音寺市瀬戸町*、観音寺市豊浜町*、多度津町家中、三豊市豊中町*、三豊市高瀬町*、まんのう町吉野下*					
震度 2：高松市伏石町、高松市庵治町*、高松市香南町*、高松市国分寺町*、高松市牟礼町*、高松市番町*、東かがわ市西村、土庄町淵崎、三木町氷上*、直島町役場*、さぬき市志度*、さぬき市津田町*、さぬき市寒川町*、小豆島町池田*、丸亀市新田町*、丸亀市飯山町*、丸亀市大手町*、善通寺市文京町*、観音寺市大野原町*、宇多津町役場*、琴平町榎井*、多度津町栄町*、三豊市仁尾町*、三豊市財田町*、三豊市山本町*、三豊市詫間町*、三豊市三野町*、綾川町山田下*					
震度 1：高松空港、高松市塩江町*、高松市香川町*、東かがわ市南野*、東かがわ市湊*、土庄町大部*、さぬき市長尾総合公園*、小豆島町馬木*、小豆島町片城*、丸亀市綾歌町*、坂出市王越町、まんのう町生間*、綾川町滝宮*					

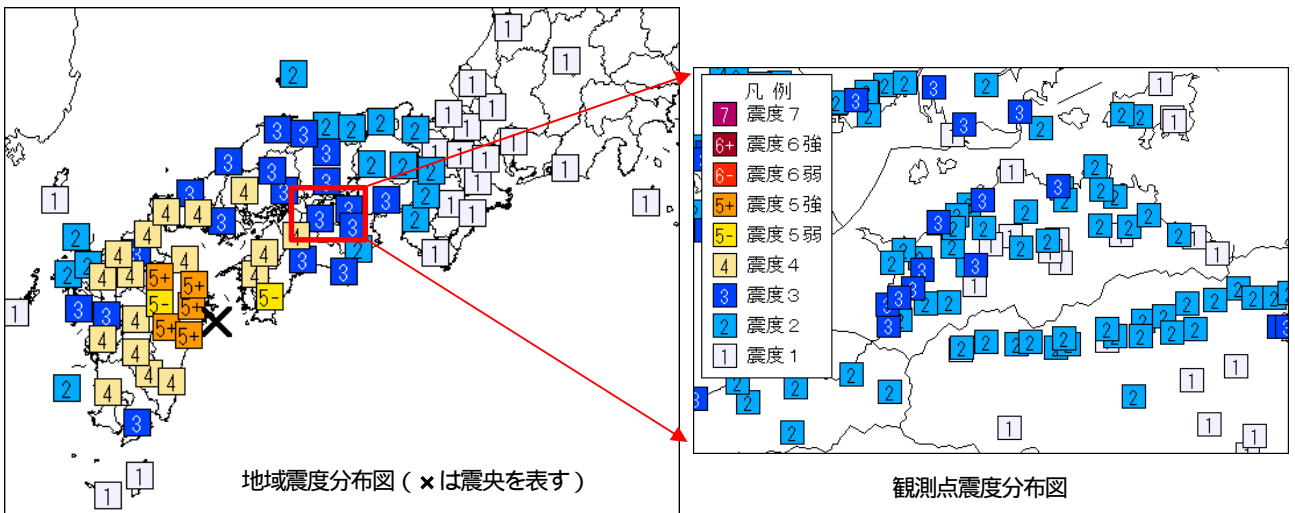
*は気象庁以外の震度観測点

震度分布図

2022年01月07日01時59分 和歌山県南部の地震



2022年01月22日01時08分 日向灘の地震



【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会】

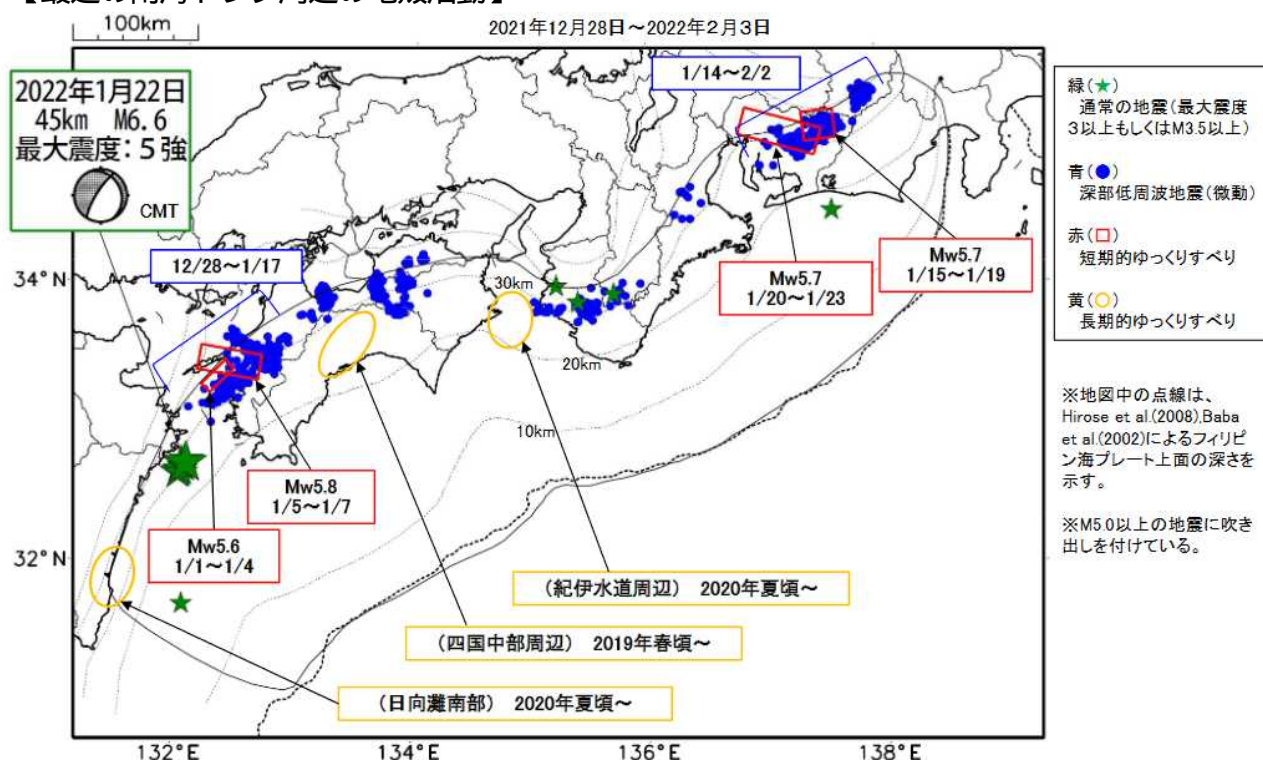
気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

令和4年(2022年)2月7日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

【調査結果(概要)】

南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり.....【東海】気象庁の解析結果による。【四国西部】産業技術総合研究所の解析結果による。
長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、紀伊水道周辺、日向灘南部】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青)、短期的ゆっくりすべり(赤)、長期的ゆっくりすべり(黄)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2202/07b/nt20220207.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム> 防災情報> 南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

【地震一口メモ】

香川県に影響を及ぼした過去の地震について

「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」

平成7年（1995年）1月17日05時46分、淡路島北部の北緯34度36分、東経135度02分、深さ16キロメートルを震源とするマグニチュード7.3の地震が発生しました。

この地震により、神戸と洲本で震度6を観測したほか、東北地方南部から九州地方にかけての広い範囲で有感となりました。さらに、気象庁の地震機動観測班の現地調査によって、神戸市や淡路島の一部地域では震度7に相当する揺れが発生していたことが判明しました。

総務省消防庁の統計によると、この地震による被害は、死者6,434名、行方不明3名、負傷者43,792名、住家全壊104,906棟、住家半壊144,274棟、全半焼7,132棟にのぼりました。

気象庁は、この地震を「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」と命名しました。また、政府は、被害規模の大きさに鑑みて、この地震によって生じた災害を「阪神・淡路大震災」と呼称することを閣議了解しました。（資料1）

この地震では、香川県でも高松、多度津、坂出で震度4を観測しています。香川県内では、負傷者7人、屋根瓦の破損等建物被害3戸、県道がけ崩れ1箇所、水道管破裂2箇所等の被害がありました（資料2）

資料1 気象庁ホームページ、「阪神・淡路大震災から20年」特設サイト
https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/1995_01_17_hyogonambu/index.html

資料2 「香川県地域防災計画地震対策編」第1章第3節3 過去の地震災害
https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/3893/r2kagawachibo_jishin_001-068.pdf

過去に繰り返し地震を起こし、将来も地震を起こすと考えられている断層を「活断層」と言います。「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」は、陸域の浅い所（深さ約20kmより浅い所）で、活断層の動きによって発生した地震で「陸域の浅い地震」と呼ばれます。

陸域の浅い地震

「陸域の浅い地震」は、すでに確認されている活断層だけで起こるとは限りません。地震が発生しても、地震の規模がある程度大きくなければ、地表に断層のずれが現れず、断層のずれが地表に現れた場合でも、その後の浸食や土壌の堆積により痕跡が不明瞭になり、まだ見つからない活断層があるかもしれません。

したがって、活断層が確認されていない場所でも、被害をもたらすような地震が起きることがあります。「陸域の浅い地震」は日本中のどこで発生しても不思議ではありません。

「陸域の浅い地震」の規模は、海溝付近で発生する巨大地震に比べて小さいことが多いですが、地震が発生する場所が浅く真上の人が住む地域に近い場合があるため、



写真 砕けた鉄道高架のコンクリート柱（神戸市灘区）



写真 4階が圧壊したビル（神戸市中央区）



写真 焼失した地域（神戸市須磨区）



写真 水没した道路（神戸市中央区）



写真 水田に表出した断層（北淡町（現・淡路市）野島平林）

写真は資料1から引用

マグニチュード6～7程度でも大きな被害をもたらすことがあります。

また、「陸域の浅い地震」が発生すると、震源に近い地域では緊急地震速報が間に合わず、先に強い揺れが到達することがあります。これらのことから、「陸域の浅い地震」に対しては日頃からの備えが重要です（資料3）。

資料3 「活断層の地震に備える－陸域の浅い地震－」文部科学省、気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/katsudansou/index.html>

南海トラフ地震の長期評価（2022年1月1日現在）について

政府の地震調査研究推進本部 地震調査委員会が令和4年1月13日に、全国の主要活断層について、将来の地震の発生可能性を評価する長期評価の最新の発生確率（令和4年（2022年）1月1日現在）を公表しました。資料「長期評価による地震発生確率値の更新について（令和4年1月13日）」によると、南海トラフで今後40年以内にマグニチュード8～9クラスの地震が発生する確率が前年の「80～90%」から「90%程度」に引き上げられました。周期的に発生する地震は、地震が起きていない期間が長くなるほど発生確率が上がります。

一方、10年以内では「30%程度」、30年以内では「70～80%」の発生確率で、前年と同じ評価となっています（資料4）。

表 長期評価による地震発生確率値の更新について（令和4年1月13日）資料4 p3 南海トラフ

南海トラフ	2021年1月1日時点の評価	2022年1月1日時点の評価
M8～M9クラス	Ⅲ＊ランク	Ⅲ＊ランク
平均発生間隔	88.2年	
ばらつき α	0.20-0.24	
経過率	0.85	0.86
10年	30%程度	30%程度
20年	50%-60%	50%-60%
30年	70%-80%	70%-80%
40年	80%-90%	90%程度
	(84%-90%)	(85%-90%)
50年	90%程度もしくはそれ以上	90%程度もしくはそれ以上
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

今回、令和3年（2021年）1月1日時点の評価内容から変化した部分が青く塗られています

資料4 長期評価による地震発生確率値の更新について 令和4年1月13日 地震調査研究推進本部 地震調査委員会

URL: https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/chousa_22jan_kakuritsu_index/